

P1-1 **カップルにおける遺伝情報の認識の相違**

— 遺伝学的検査における男女での語りに着目して —

笹谷絵里（花園大学）

P1-2 **「つながりの場」としての YouTube コメント欄の構造と内容**

— 医学的に説明困難な疾患の患者体験談動画を例に —

本間三恵子（埼玉県立大学）

P1-3 **がん患者の語りづらさに関する調査研究**

— オンライン型がん患者会にみるピアサポートの現状と課題 —

佐々木加奈子（東北大学）

プログラム第1日目：5月28日（土）

教育講演

12:30～13:50

オンライン配信

司会：山田富秋（松山大学）

講演

ウィズコロナの時代に地域で生きる

—愛媛県愛南町の実践より—

長野敏宏（公益財団法人正光会 御荘診療所）

大会記念講演

14:00～15:20

オンライン配信

司会：白柿綾（聖カタリナ大学）

講演

パンデミックの中の感情労働

—ケアをする人・される人・されない人—

武井麻子（日本赤十字看護大学名誉教授）

大会記念シンポジウム

15:30～18:00

オンライン配信

シンポジウム

ウィズコロナをどう生きるか

—感染症のスティグマを乗り越える—

コメンテーター：佐藤哲彦（関西学院大学）

司会：山田富秋（松山大学）

S-1

「隔離」と「療養」の間で

—コロナの時代に考える近代日本のハンセン病史—

廣川和花（専修大学）

S-2

血友病HIV感染被害者の抱える諸問題

—「病い」にまつわる生きづらさと苦心惨憺—

早坂典生（NPO 法人りょうちゃんず）・種田博之（産業医科大学）

S-3

自殺のスティグマを超えて

—新型コロナ禍と社会的連帯—

山田陽子（大阪大学）

RTD 1

15:30~17:30

R-1

新たな職能としての‘学校看護師’の現在及び今後の展開

—医療的ケア児も地域の公立校に通い・学び・成長するために—

企画者：友松郁子（大阪大学大学院）

話題提供者：浦口真奈美（聖路加国際大学）

木内昌子（一般社団法人 MEPL）

山本 ベバリーアン（大阪大学大学院）

RTD 2

15:30~17:30

R-2

コロナ禍時代の「看護・介護移民」の生活と適応

企画者：大野俊（清泉女子大学）

話題提供者：マリオ・アイバン・ロペズ（京都大学）

大野俊（清泉女子大学）

比留間洋一（静岡大学）

平野裕子（長崎大学）

●セッション1 当事者と／への支援

司会：金子雅彦（防衛医科大学校）

- 1-1 障害者手帳所持者が災害時に感じる困難
—障害種別および等級による差—
北村弥生（長野保健医療大学、前国立障害者リハビリテーションセンター）
- 1-2 就労中の双極性障害患者への新型コロナウイルス流行の影響
松元圭（関西大学大学院）
- 1-3 アルコール依存症者における家族関係と家庭環境に関する考察
馬シイク（一橋大学）
- 1-4 未就学児をもつ母親のネガティブサポート体験と援助要請への抵抗感
○木村美也子（聖マリアンナ医科大学）・山崎喜比古（放送大学）
- 1-5 ホームレス状態にある人は日本においてどのように語られてきたのか
—ホームレス状態にある人の精神保健医療に関する課題—
須賀郁子（横浜国立大学大学院）
- 1-6 エスニック・マイノリティ福祉の展望
—介護保険制度の法改正を事例として—
伊藤尚子（公立小松大学）
- 1-7 「コミュニティ」と「ケア」はいかに接合されうるのか？
—コミュニティ【で／と／を】ケアする—
鷹田佳典（日本赤十字看護大学）

R-3 出生前検査にかかる相談体制のあり方を考える

ー日米英の現状と「胎児ホットライン」の活動からー

企画者： 白井千晶（静岡大学／NPO 法人親子の未来を支える会）

話題提供者： 林伸彦（NPO 法人親子の未来を支える会）

原田奈美（東邦大学／NPO 法人親子の未来を支える会）

大西涼子（聖路加国際病院／NPO 法人親子の未来を支える会）

坪田明子（武蔵野大学／NPO 法人親子の未来を支える会）

水戸川真由美（ドゥーラ協会認定産後ドゥーラ／NPO 法人親子の未来を支える会）

白井千晶（静岡大学／NPO 法人親子の未来を支える会）

R-4 精神疾患・障害をめぐるせめぎ合いの社会学

ーコンテストレーションの諸相ー

企画者： 美馬達哉（立命館大学）

話題提供者： 志水洋人（立命館大学）

高木美歩（立命館大学）

佐々木洋子（和歌山県立医科大学）

●セッション2 医療をめぐる表象

司会：鈴木智之（法政大学）

- 2-1 「日本的ジョブ型労働」として捉える看護師の労働意識
—「転職口コミサイト」を通じた離職・労使コミュニケーションの検討—
鹿島謙輔（埼玉大学大学院博士後期課程・㈱横浜コンサルティングファーム）
- 2-2 アフリカにおける精神障害者のグローバルな社会運動の参加
伊東香純（日本学術振興会・中央大学）
- 2-3 「精神科」の婉曲語法と相談文化をめぐる考察
—「メンタルクリニック」の表象に着目して—
榎原克哉（東京通信大学）
- 2-4 占領期におけるパンデミックのスティグマ再考
—米軍の性病対策を手がかりにウィズコロナ時代の「生存戦略」を考える—
茶園敏美（京都大学）
- 2-5 医療関連研究への患者・当事者参画の可能性と課題
—ピアサポート DX 化研究の初回会議を手掛かりにして—
○葉山靖明（NPO 学びあい・株式会社ケアプラネット）・細田満和子（星槎大学）
- 2-6 EBM の誕生
—「専門家システムとしての医療」の変容—
中川輝彦（熊本大学）
- 2-7 医療情報の電子化・ネットワーク化に伴う医療・看護・介護の変化
—生政治・「剥き出しの生」と健康にまつわる情報管理—
佐々木香織（札幌医科大学）

●セッション3 医療におけるコミュニケーション

司会：高山智子（国立がん研究センター）

3-1 日本の COVID-19 ワクチン接種策

— パーソنز理論を用いた整理 —

金子雅彦（防衛医科大学校）

3-2 薬や身体との関係性の主体的決定

— 生活者、医療従事者等を対象とした 20 名の質的研究 —

○矢野真沙代（NPO 法人 HAP・中央大学大学院）・宮原富士子（NPO 法人 HAP）

3-3 患者満足度を高める専門家と非専門家のコミュニケーション分析

— 医師からみる患者とは —

竹重幸（京都大学大学院）

3-4 多併存疾患患者のがん罹患経験

— 「がんになってから」という時間の発生 —

坂井志織（武蔵野大学）

3-5 医療的ケアに携わる看護師が考える看護師研修の内容と途中経過報告

荻野貴美子（星槎大学大学院）

3-6 病院で出産する女性と助産師との関係の成り立ち

大和田裕美（静岡県立大学）

R-5 再び生きるために

— ピアサポートの実態と可能性 —

企画者：細田満和子（星槎大学）

話題提供者：葉山靖明（NPO 法人学びあい）

宿野部武志（一般社団法人ピーベック）

水口迅（NPO 法人みんなのポラリス）

小林幸治（目白大学）

杉原正子（東京医療センター）

R-6 薬害問題を思索する知性を社会で育む

企画者：本郷正武（桃山学院大学）

話題提供者：佐藤哲彦（関西学院大学）

中塚朋子（就実大学）

種田博之（産業医科大学）

コメンテーター：佐藤嗣道（東京理科大学・公益財団法人いしずえ）

●セッション4 病いの体験／経験

司会：野島那津子（石巻専修大学）

4-1 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言（第9報）

—健康状態と被害病態性フレイルとの関連—

○久地井寿哉（社会福祉法人はばたき福祉事業団）・柿沼章子・岩野友里・武田飛呂城

4-2 安全／脅威の線引きをめぐる感染者の語り

—コロナ禍における包摂と排除—

○佐藤（佐久間）りか（認定 NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン）

・澤田明子・豊本莉恵・原田雅義

4-3 新型コロナウイルス感染症に関連した職場ハラスメント

—感染者とその家族の語りから—

○豊本莉恵（京都大学大学院・認定 NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン）
・佐藤（佐久間）りか・澤田明子**4-4 「心不全の語りデータベース」作成の報告**

—高齢の心不全患者の語りに着目して—

○射場典子（山梨大学・認定 NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン）

・鷹田佳典（日本赤十字看護大学）

4-5 インスリン製剤を使用中の糖尿病患者が経験している低血糖

—現象学的な考察を通じて—

細野知子（日本赤十字看護大学）

4-6 優生保護法のもとでの本人意思に基づく不妊手術

—家族計画と不妊手術—

由井秀樹（山梨大学）

RTD 7

15:30~17:30

R-7 医学研究の ELSI（倫理的法的社会的課題）を考える

企画者：木矢幸孝（東京大学）

話題提供者：木矢幸孝（東京大学）

渡部沙織（東京大学）

李怡然（東京大学）

武藤香織（東京大学）

RTD 8

15:30~17:30

R-8 血友病周辺女性にとっての保因者である可能性が妊娠・出産・子育て経験にもたらすこと

企画者：伊藤美樹子（滋賀医科大学）

話題提供者：木村美也子（聖マリアンナ医科大学）

田淵紗也香（滋賀医科大学）

西田千裕（滋賀医科大学）

●セッション5 臨床のフィールドワーク

司会：檜田美雄（神戸市看護大学）

5-1 介護現場の well-being を高める要因

—混合研究法による検討—

○松繁卓哉（国立保健医療科学院）・森山葉子（国立保健医療科学院）

5-2 山形県天童市における社会的処方プログラム実践の試み

—地域高齢者を対象とした「からだで気づく！」ワークショップ—

山田カオル（山形県立保健医療大学）

5-3 科学技術研究所で働く知的・発達障害者たち

—実験室のワークプレイスとダイバーシティー—

○海老田大五朗（新潟青陵大学）・水川喜文（北星学園大学）

5-4 外傷により脊髄を損傷した人の受傷後間もない時期の経験

—できる/できないという語りに注目して—

村上優子（東京都立大学）

5-5 看護部長の方針はいかに作られるのか

—地域包括ケア時代の急性期病院のフィールドワークより（1）—

○西村ユミ（東京都立大学）・前田泰樹（立教大学）

5-6 入院のための説明はどのように開始されるか

—地域包括ケア時代の急性期病院のフィールドワークより（2）—

○前田泰樹（立教大学）・西村ユミ（東京都立大学）